



自立支援センター運営委員会報告

7月14日(土)10~12時

第14回自立支援センターまつり

前日準備 7月15日(日)

当日 7月16日(海の日)

会計・来賓受付・式典(事業報告)を担当しました。

反省会 7月31日(火)会計中間報告

○ふれあいサロン 第2土曜日18時より

7月お休み(センターまつり準備のため)

8月11日(オリンピック観戦等)

次回9月8日

○特別講演会第1段

「ろうあの村長横尾義智氏の思い出」

日時:9月16日(日)14~16時15分(13時半開場)

場所:リフレッシュ氷川

講師:山岸信治氏

参加費:1,000円

○特別講演会第2弾

日時:11月3日(土・文化の日)14~16時15分(13時半開場)

場所:リフレッシュ氷川

講師:小海秀純氏

参加費:1,000円

戦時体験のつどい

8月8日(水)昼部・夜部

赤坂区民センター

○次回 運営委員会は9月8日(土)10時から

以上です。

(文責 杉石)

たましろの郷後援会役員会

7月28日にはたましろの郷夏まつりが、8月8日には手話で語る戦時体験が開催されました。たくさんの方にお越しいただき、ありがとうございました。

戦時体験の際には座席数が不足するなど大変ご迷惑をお掛けしました。申し訳ありませんでした。振り返りを行い、来年以降にいかしてまいります。

施設より

・職員募集のチラシをニュースにいれました。ご協力よろしくお願ひします。

事務局より

・2012年度会員数...個人:941名(新規65名)1021口、
団体:42団体 72口

・募金箱...243個回収 ¥967,939(7月7日現在)

・球根販売の申し込み受け付けを開始しました!!

みなさまのお申込みをお待ちしております。

今後の予定

・9月29日(土) たましろの郷バスツアー

・10月28日(土) たましろフェスタ in 品川

・11月17・18日(土・日) 全聴福研

以上

(文責 戸部)

福祉対策会議報告

・福祉対策会議記録の協力をいろいろな方をお願いしています。次回は9/3です。協力をお願いします。

・関東ろう者体育大会の協力に対し、感謝のことばがありました。(東通研は開会式の通訳、都サ連は競技場の通訳を担当)都サ連から「サークルが通訳を担うべきではない」という意見を出し、話し合いがなされました。連盟としては通訳と言うより、競技に精通している要員という考え方であったようです。もう少し早めの依頼であれば、各サークルに説明が出来たので、今後は早めに依頼をして欲しいとお願いをしました。ただ事故が起きたときの対応については、今後十分な検討が必要であることをお願いしました。

・新型防災バンダナの効果的な配布方法の検討

・都との福祉懇談会は、中難協 7/12、東聴連 7/19 に実施されました。

・(財)全日本ろうあ連盟評議員会で手話研修センターの「後援会」発足が、賛成多数で可決されました。

・8月の福祉対策会議は休会で、8月27日に地域担当者会議を開催します。

(文責 高田)

参政権保障委員会報告(2012/8/6)

参政権保障委員会では、毎月第3月曜日に定期会議を持っています
が、8月は6日に行いました。(7月はお休みでした)

コミュニケーションボードについて

投票所で想定されるいろいろな質問に対して、文字ではなく絵で答える「コミュニケーションボード」の作成を進めています。

いろいろな方の意見を取り入れ、ほぼ最終形に近いものができあがりました。これを都選管の方に送り、さらに意見を集めたあと最終的なボードを作る予定です。

青年会議所との意見交換会について

青年会議所との意見交換会を10月に予定しています。

各政党との交渉

政見放送時の手話通訳や字幕付与に対する要望などを、自民党に対して送る予定です。

次回の会議は9/18の予定

(事務局 三村)

広報班の活動報告

今年度もサークルの訪問を開始しました。9/17の都サ連一日研修にも過去訪問した未加盟サークルをご招待するべく交渉中です。皆様のご理解とご協力を引き続き宜しくお願いします。

サークル訪問記 ~ 豊島区手話サークル「手響」~

7月12日(木)夜に高田代表、河野事務局長と広報担当の山崎三名で西武池袋線椎名町駅から歩いてすぐの心身障害者センター3Fにサークル夜の部を訪問しました。本来の会場は池袋駅西口の西池袋第二区民集會室(さくらんぼ)ですがこの日は昼の部の定例会場に変更されていました。

毎月第一から第四木曜日の午前10時から12時、同じく木曜日の夜6時半から8時半までと松本副会長から聞いていた私達は7時少し前に到着しました。

黄田前ろう協会長の単語の指導30分が丁度終了したところでした。広い部屋の中に椅子だけ車座に25名程度の参加者でした。(ろう者は5名)白熊会長、松本副会長にご挨拶した後に、10分ほど都サ連の時間を頂ける話になり、山崎から訪問に至る経緯とお礼を述べた後で高田代表から都サ連のPRをしました。東北大地震の教訓は、ろう者の安否確認が地域の手話サークルにこそ中心的な役割があるということ。

その具体的な内容については、来年の事務局主催の一日研修に岩手、宮城、福島3県のサークル幹部が上京しての講演があるのでご案内する。是非とも都サ連に加盟して頂いて一緒に活動したいと、力強く語りかけました。

その後はろうの女性の司会で「四季の歌」「大きな古時計」の手話歌、ピンゴゲームと私達3名も参加させて頂き楽しく交流しました。楽しく和気あいあいとした雰囲気の中、研修会のお誘いも含めて今後の再開を約束しながら解散となりました。

白熊会長、松本副会長 有難うございました。

以上

(文責 山崎)

自立支援センターまつりに参加して

7月16日(月)第16回自立支援センターまつりが約500名の参加者のもと、渋谷区にある自立支援センタートリフレッシュ氷川で開催されました。

今年も私を含め4名が都サ連から実行委員として、事前の実行委員会から参加し、昨年同様、スタンプラリー、福引き、似顔絵を担当いたしました。皆様のご協力により、今年も素敵な景品が整い、約400名の方々に福引きを楽しんでいただくことができました。景品を提供していただきました方々、また事前準備、前日の会場設営、当日の要員の方々、本当にありがとうございました。今年は、配置しきれないほどの要員申し込みがあり、一部の方にはまつりへの参加のみをお願いすることになってしまい、大変申し訳なく思っております。要員募集に関しては、来年度に改善できるよう、申し送りをいたします。

自立支援センターまつりの実行委員会は、障がいがある無しに関わらず、まつりを成功させたいという、1つの目標をみんなで共有し、成し遂げた時には、何とも言えない達成感や喜びがあります。これは、それまでの苦労を忘れ、また来年も実行委員を引き受けてもいい...と思える不思議な魅力(?)があり、気付けば今年で担当4年目となりました。今年も実行委員会やまつり当日を通して、多くの方々と出会い、交流することができたので楽しく活動することができました。

是非、都サ連内のいろいろな方々にも体験していただきたいと思います!

また、これまで一緒に実行委員として活動してまいりました甲谷さんが活動途中で亡くなられ、さぞかしご本人は心残りだったと思います。満点とはいかなかったかと思いますが、甲谷さんの遺志を引き継ぎ、無事に今年の実行委員としての役割を果たしましたこと、都サ連を始め関係者の皆様のご支援、ご協力の賜物と、心より感謝いたします。自立支援センターまつり実行委員会の中でも、甲谷さんの功績は大きく、これから先もその思いはきちんと引き継がれて行くと思います。最後に、生前の甲谷さんのご指導に深く感謝し、ご冥福を心よりお祈り申し上げます。

港区手話サークル麦の会 遠藤有子